## 道端の妖精に魅せられて

先日、爽やかな陽気に誘われて、小一時間のウォーキングを楽しんだ。 その道すがら、靴のヒモがゆるんで結び直す。立ち上がろうとしたとき、 目の前の草むらにピンク色の花が目に飛び込む。風に揺れて周りの草に見え 隠れしながら、恥ずかしそうに咲いている。草丈およそ25センチの小ぶり。 緑一色の草むらの中でピンク色の花は鮮やかで愛らしい。まるで可憐な妖精 が現れたかのようだ。しばらくの間、道端にしゃがんだまま我を忘れて眺め る。よくよく見ると、小さなピンク色の花が茎の周りにラセン状に並んで咲 いている。

この草花の名前が知りたい。デジカメで撮った写真を手掛かりにインターネットで調べたり、山野草に造詣の深い方に尋ねたりしてようやく名前が分かる。ネジバナ(ラン科・多年草)という草花だ。花の色は、通常ピンク色だが、まれに白色もあるとのことだ。

もう一度ウォーキングに出掛けて、愛らしいあの道端の妖精に会いたい。 できれば、白い妖精にも会いたい。ちなみにネジバナの花言葉は「思慕」と のことだ。この花は、見る者の心を魅了する不思議な力を秘めている。

